

和気町議会だより

Wake Gikai

特集：議会の仕組み

- ② 和気町議会、基本のキホン
- ⑥ 3月定例会より
- ⑨ 質疑と答弁
- ⑫ 委員長報告

和気町議会

第56号

令和2年3月定例会

はじめに

今回の特集では議会の仕組みについて解説します！

専門用語の多い町議会。「条例案」や「補正予算」とかいきなり言われてもちんぷんかんぷん。しかし、仕組みさえわかれば、意外とカンタンです。



町議会議員の仕事

議員のメインの仕事は、行政から提出された条例案と予算案の議決です。議決とは各議員が議案に対して「賛成です！」「反対です！」と意思表示することで、過半数が賛成すれば可決、過半数が反対すればその議案は否決されます。

条例案とは和気町のルールのこと。条例は、国でいう法律にあたります。予算案とは、行政がつくる「集めた税金をこういう風に使いますよ！」という案のことです。

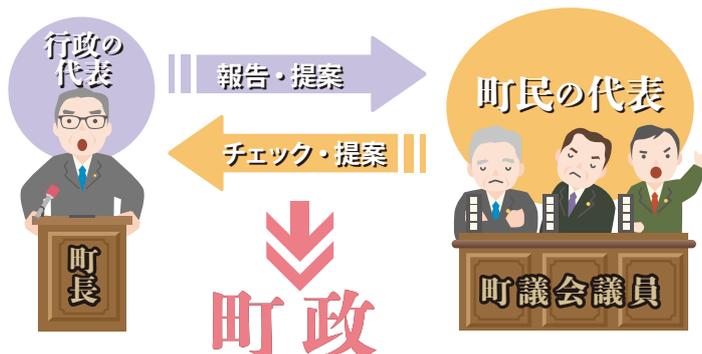
他にも住民からのお願いである「陳情」と「請願」の採択や一年間に使った税金の決算の認定、副町長や教育長の承認などたくさんあります。

ざっくり言うと、町民の暮らしを良くするために、和気町のルール(条例)を作ったり変えたり廃止したり、和気町のお金(150億円くらい)を行政がどう使うのかを決めたり(予算)、そのお金が正しく使われているか(決算)をチェックしたり、新しくアイデアを出したり、国や県に対して意見を出したり…そのようなことをやっています！

町長と議員の関係

町長と議員って具体的に何が違うの？という質問を受けることがあります。どちらも選挙で選ばれますが、明確に違うのは役割です。町長は「行政(役場)の代表」、議員は「町民の代表」と言われています。予算案を作るのが町長(行政)で、その予算案が良いか悪いかを決めるのが議員の役割。

予算案を作れるのは町長だけですが、条例案は議員も作ることができます。



1年間のスケジュール

和気町では、3月・6月・9月・12月と、1年間に4回定例会が開かれていますが、時期によって話し合う内容は変わってきます。

- * 3月定例会では、主に次年度の当初予算案が議題にあがります。1年間の税金の使い方を決めます。和気町全体の予算を話し合います。
- * 6月、12月定例会では、主に補正予算について話し合います。補正予算とは、「以前お金を〇〇に使うと言いましたけど、必要なくなりました」とか「災害対策のお金が急に必要になったので、予算に追加します」など、当初予算の内容を変更する案のことです。
- * 9月定例会では、決算の認定をします。前年度の予算が、正しく使われたのかどうかを調査します。

定例会

* 提案（上程）

例会の初日に行われます。定例会で議論することが、ここですべて紹介されます。

* 質疑と委員会付託

上程が終わったら、議員から議案に対する質疑が許可されます。質疑が終わると、議案の性質ごとに委員会で話し合われます。

現在和気町議会では、次の4つの委員会が設置されています。

- * 総務文教常任委員会
- * 和気鵜飼谷温泉事業特別委員会
- * 厚生産業常任委員会
- * 防災都市公園整備事業特別委員会

* 一般質問

議員がそれぞれ専門性を活かし、独自の質問をします。議員には40分間を与えられ、町政全般について質問や提案を行います。希望者制で、人数に応じて1～2日にかけて行われます。傍聴者数が一番多いのがこの日ですね！

* 意見表明（討論）と採決

定例会最終日には討論と採決が行われます。討論では、議員が演壇で最後の意見表明を行います。その後に行われるのが採決。賛成、反対の意思表示をします。町のルールやお金の使い方を決めるとても重要な日になります。

議場案内



議員席最上段から。
向かい合うのが町長をはじめとした
行政幹部の方々。



議長席から。
現在の議長は安東哲矢議員が務めて
います。



写真左の傍聴席は30席。新聞記者
の方も取材に来ます。
どなたでも気軽に傍聴できますの
で、興味のある方はぜひ本庁舎3階
へお越し下さい！



みなさんをご覧になっている中継や
録画は、実はこのように撮影されて
います。

一般質問の自粛について

このたびの3月議会定例会は、国内で新型コロナウイルスの感染者が増加していく中、リスク軽減のためすべての会議の時間短縮を図ってまいりました。

定例会初日に議会全員協議会を開き、一般質問を自粛することについて協議いたしました。一部の議員から一般質問の通告希望がありましたが、町民、職員や議員の安全を第一に考え、議会として今期定例会における一般質問を自粛することを決断いたしました。

私たちは、町民の目線に立って議会活動に邁進し、町政発展のために尽力してまいりたいと考えております。

何卒、ご理解を賜りますようお願いいたします。

和気町議会 議長 安東 哲矢
議会議員一同

令和2年度一般会計予算

76億8,000万円を可決

本庁舎に非常用電源設備を整備 1億1,110万円

大規模災害に備えて、72時間連続稼働できる非常用電源設備を整備し、災害時の防災拠点の機能確保を図る。

ドローン活用推進事業 1,033万円

- 実用化を想定した配送の実施
- 行方不明者の捜索
- スマート農業の普及啓発

反対意見

● 西中純一議員

停電時のバックアップ電源や町立体育館に大型エアコンを整備するなどの防災対策は評価するが、隣保館管理費、人権啓発推進費、集会所管理費を含めて人権事業に3000万円以上、これは差別解消に役立たないので、廃止すべきである。また、令和元年6月議会で可決された965万円のドローンの実験事業の検証がされていない中で、1033万円を使うことになるが、積算根拠が示されていないし、FDDI社の言いなりになっているのではないかと思う。FDDI社の会社登記簿を見ると、業務内容のかなりの部分が町の検証実験と重なる。ドローンを活用した農林業、畜獣駆除、日用品の医薬品販売事業、写真測量解析情報システムの企画設計等が多々見られる。農業委員会費の撮影委託料100万円については、農業委員会で実施していたものを、人的実施か機械でできるかの検証だが、これも随意契約で実施である。768万円の委託先は2社であるが、委託料の契約書も提出されていない。もし、前回と同じ契約内容であれば、実証実験の成果は和気町に帰属しておらず、同事業を推進するメリットは少ないし、後でFDDI社や親会社のL社の営業に使われるだけではないだろうか。

賛成意見

● 神崎良一議員

私は次の点から、本議案に強く賛成する。

- ① 和気町は平成30年に国土交通省及び環境省から『ドローンによる荷物配送モデルの早期実用化に向けた検証実験を行う地域』として選定された。全国で選定された地域はたったの5か所だ。
- ② 昨年、ドローンによる農地撮影は県の補助事業になった。このように国や県が注力している事業を和気町が強く進めることは、言い換えれば、今後の日本の将来を牽引する事業を和気町から発信でき、和気町にとって大きなメリットになる。ドローンによる検証実験や農地撮影などの具体的事業は、高齢化や就農者不足の農業問題の解決策を見出す意義も大きく、また、県の補助事業ということで80%の補助があるのもメリットである。
- ③ 和気町にはドローン航空隊が配置されており、撮影実施に際しては同行・立会いをし、訓練・研修も計画されており、さらなる期待がされる。

「ドローン事業といえは和気町。和気町といえはドローン事業。」と言われるまでになった今日、ドローンの今後の活用の範囲は急拡大していくと考えられる。ドローン事業の強い推進が、和気町の将来を担う大きな要因になると考えられる。

以上の理由により、同予算に賛成する。

和気町学校給食共同調理場等条例の改正 否決

老朽化した佐伯学校給食調理場を廃止して、本荘学校給食調理場を有効活用し、調理配達を行うための改正です。

反対意見

● 従野 勝議員

この問題の原点は、平成9年4月から学校給食管理基準が制定されたことにより、非常に厳しい管理基準が課された。その後、平成20年までいろいろと一部改正が行われた。

和気町は和気調理場を平成22年に基準に適合するように改善をし、平成23年には、本荘の調理場を新築している。しかしながら、佐伯調理場においては新しい管理基準が示された後も、20年以上にわたり、修理補修はされてきたが、管理基準に適合するように大きく改善されることなく今日を迎えている。このことは、暗に、学校の合併ありきの中で放置されてきたと思わざるを得ない状況である。

このたび、佐伯調理場の存続に対して、佐伯地域の15名の区長から議長と町長に対して要望書が提出されており、佐伯調理場の存続のみならず、佐伯地域の学校を残そうという佐伯地域全体の気持ちをあらわしたものである。執行部は真摯に受け止めるべきである。町村合併以来、佐伯地域は人口減少をはじめ、多くの課題が山積しており、このような中で公共施設の廃止は佐伯地域をより疲弊させてしまう可能性がある。よって、同条例に反対する。

賛成意見

● 尾崎 智美議員

新築するにしても改築するにしても4000万円程度が本町の負担となり、維持管理費も人件費を含め、年間1000万円程度が節約でき、統合には非常にメリットが多く、デメリットはほとんどないと考える。

温度測定により、配送した給食が冷める心配もないことが分かった。本荘調理場は佐伯調理場での200食足らずを調理するのに十分に余裕があり、設備も良く何の問題もない。

また、一番の当事者は児童生徒やその保護者であり、説明会では、保護者から特に反対意見もなく、統合の方向性でよいといった意見と雰囲気であった。

今回、佐伯調理場の存続の要望書が出ているが、署名した区長に聞いたところ、調理場の存続というより、佐伯地域から施設がなくなることに寂しさから署名したように感じた。

そういった声が出なくなるように、執行部には佐伯地域にも手厚い配慮をお願いしたい。以上の理由により原案に賛成する。

● 西中純一議員

この対応は、平成29年ころから「佐伯調理場廃止・本荘調理場から配送」ありきで検討が進められていた。1月の佐伯小・佐伯中での説明会における教育委員会の資料を見ると、改修、新築、他の調理場からの配送、の3つの改正案が考えられるが、本荘からの配送が望ましいという決めつけの資料だったように思う。

新築は2億6400万円と提示しているが、改築の試算は出していない。私としては、本荘も佐伯も併存させて、どちらも教育活動が自由になるのが一番好ましい。現在、栄養教諭制度もあり、郷土料理などの食育もできるようになっている。しかも多くの町村がセンター化や民間委託をし、異物混入事故も発生している。佐伯調理場廃止には、佐伯中を和氣中に統合しようという魂胆がみえる。学校統合で、和気・石生・日笠・山田の各地域をなくし、藤野小学校の名前も壊してきた。これ以上の地域壊しはやめてほしい。食べさせればよいというものでもない。給食についても素晴らしい教育環境を佐伯地域にも残して欲しい。また、調理場を残しておけば、災害時の炊き出しのインフラにもなると思う。

● 若旅 啓太議員

私は給食委員会の副委員長として子供たちの食の安全を真摯に議論してきた。学校給食法の定める衛生管理基準を満たしていない施設で安全な給食をつくっているため、佐伯の調理員は大変な思いをしている。保護者アンケートの結果を見ても統合がベストだ。建て替えや増築にお金をかけるのであれば、そのお金を子供たちのために使ってほしい。よりよい食材を使ってほしい、いい学習教材、いい教育のためにそのお金を使ってほしいというのが保護者の意見だ。統合が一番の選択である。

子供たちの食の安全と、これからの地域の未来を、そして何が子供たちのためにベストなのかを真摯に考えるべきである。

賛否の状況 ※賛否が分かれた議案のみ掲載

議案等の名称	尾崎智美	太田啓補	従野勝	若旅啓太	神崎良一	山本稔	居樹豊	万代哲央	山本泰正	西中純一	当瀬万享
学校給食共同調理場等条例の改正	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
令和2年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
「被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×

請願

「被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

提出者：岡山市中区湊 130-12 災害対策連絡会岡山 伊原 潔

▶ 審査結果：採択

一部事務組合議会

近隣の市・町の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合議会は、構成する市・町の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和2年2月18日開催)

組合名	議案の件名	審議結果
和気老人ホーム組合 (和気町、備前市、赤磐市)	令和元年度和気老人ホーム組合会計補正予算(第3号)について	原案可決
	令和2年度和気老人ホーム組合会計予算について	原案可決
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合(和気町、赤磐市)	令和2年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計予算について	原案可決
和気北部衛生施設組合 (和気町、備前市、赤磐市)	令和元年度和気北部衛生施設組合会計補正予算(第3号)について	原案可決
	令和2年度和気北部衛生施設組合会計予算について	原案可決



← 3月18日定例会②の動画



← 3月18日定例会①の動画



← 3月6日定例会の動画

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。

令和元年度 一般会計 補正予算

道の駅はどうなったか

西中純一議員

問 当初343万円を46万円だけ使って、297万円減額している。

答 今田産業建設部長
組織の構成が不確定で、今年度発足は無理と判断し、委託料を減額した。

プレミアム付商品券
費の減額(約6900
万円)はなぜか

太田啓補議員

問 利用者が少なかった理由は、また、500円券にした方

が良かったのではないか。

答 松田健康福祉課長
住民税非課税者の約2割の利用しかなかった。商品券の額は、今後同様の制度が実施された場合は、検討の余地がある。

条例

和気町学校給食共同調理場等の一部を改正する条例
国の指導があったのか

太田啓補議員

問 文科省の指導に対して、町の対応は。

答 万代教育次長
指導はない。今でも安全な給食を提供している。

経費ではなく教育論で

西中純一議員

問 教育論で考えるべきである。先生方の意見では、学校の行事がやりにくくなることだ

答 万代教育次長

行事との関係では、配送車の予備車を今後検討したい。

佐伯給食調理場の補助率変更はどういうことか

山本泰正議員

問 補助率が、2分の1から3分の1への変更はどういうことか。

答 草加町長
全員協議会では、補助率2分の1と説明したが、再確認の結果、建て直しの場合改築となるとの県の見解だ。

給食調理場の廃止は慎重に

居樹 豊議員

問 学校現場の声を十分に聞くべきでは。

答 徳永教育長

運営委員会では、学校長の意見も聞きながら進めている。



佐伯調理場



本荘調理場



令和2年度
一般会計
予算

LPガス爆発の危険性は

万代 哲央 議員

問 非常用電源装置のLPガス燃料は地震発生時に爆発しないか。

答 新田危機管理室長
地震に耐える強度で整備する。

長寿フェスタを取りやめ、なぜ敬老祝賀会か

山本泰正 議員

問 高齢者が企画立案し運営する好評な事業をなぜ廃止し、敬老祝賀会を行うのか。

答 松田健康福祉課長

敬老祝賀会は多年にわたり社会貢献された高齢者を祝うため計画した。長寿フェスタが好評であったのは承知しているが、今年度からは社協と町が主体で実施する。

町民の役に立たないドローンでは

西中純一 議員

問 965万円の実証実験後、768万円の委託料がかかる。町民の利益にならないという声もあるがどうか。

答 立石総務部長

実施中の従来事業に加えて、町民からの要望の声が多い薬の配送を調査研究中である。

各種検診項目の拡充を

居樹 豊 議員

問 各種検診の委託料は、予防医療の見地から検査項目の拡充が必要と考えるがどうか。

答 松田健康福祉課長
現在、各種がん検診を行っている。費用面も考慮し、今後、医療機関の検査体制などを見ながら進めていきたい。

ドローン撮影委託料(100万円)は何か

太田啓補 議員

問 農業委員会費のドローン撮影委託内容は。これにより

農業パトロール員の費用が削減できるのか。

答 今田産業建設部長

山間部の耕作放棄地の荒廃状況を確認する。農業委員などの労力軽減や人件費の削減ができると考える。今年度は支援事業として試験的に行う。



LPガス非常用発電機 ※写真はイメージです。

令和2年度
特別会計
予算

国民健康保険特別会計
医療費県下一高
令和3年に引き上げるのか

西中純一議員

問 1人あたりの保険給付費が県下で最高。一方で県への納付金は5000万円以上減少している。

答 岡本民生福祉部長 予算的には、療養給付費が4000万円減、被保険者数も減である。3年度保険税は検討する。

地域開発事業特別会計
土地購入費は

西中純一議員

問 土地購入費81万円は。

答 野山総務事業部長 防災調整池から吉井川へ放流するので、土手へ釜場をつくり、排水ポンプであげる所の土地購入費である。

宮田住宅の解体後の
利活用は

居樹 豊議員

問 分譲地にする予定とあるが、今後新たな町営住宅の建設は不可能となるのか。

答 草加町長 宮田団地は昭和40年代前半に建設したもので、解体したところである。敷地面積は約6000㎡で、大体17区画を分譲していきたいと考えている。

公共下水道事業特別会計
下水のストックマネジメントとは

西中純一議員

問 ストックマネジメント計画策定業務で4400万円の委託料は。

答 山崎上下水道課長 和気町の下水はできて30年が経過し、老朽化が進んでいる。評価や点検の結果を県へ提出する。

上水道事業会計
水道事業の経営戦略策定業務とは何か

太田啓補議員

問 世間では水道の民営化問題も取りざたされているが、経営戦略策定業務とは具体的にどのようなものか。

答 山崎上下水道課長 本町の水源地の問題、老朽化した水道管修繕の問題など、財政面も含め、

今後の水道事業全般の経営戦略を策定する。

簡易水道事業会計

木倉、益原水道連絡管設計委託とは

西中純一議員

問 連絡管とは何か。
答 山崎上下水道課長 木倉から益原の高区配水池に送水する水道管である。



矢田工業団地予定地

総務文教 常任委員会

令和元年度

一般会計補正予算

問

ここにこの園臨時教諭賃金が1721万円余りも減額されている。何人採用したのか。

答

3.5人である。(当初10人を見込んでいた。)

問

35人で来年度当初で足りるのか。

答

待機児童はいないので、対応できる。

学校給食共同調理場等 条例の一部改正

問

佐伯調理場は古い。安全安心のため改築を望む。改築の検討は。

答

本荘の給食調理場を有効活用することが最善策と考えている。

問

学校給食は保護者だけでなく地域全体の問題だ。佐伯地域に配慮した計画が必要だ。

答

運営委員会で検討した結果、有効活用がよいということだ。

問

佐伯地域15区の区長より「要望書」が出されているが、今後理解してもらえよう努める。

答

今後理解してもらえよう努める。

※「要望書」の要旨

『基準に不備があるのなら、児童生徒のために改築、または新築して教育・地域環境を守ってもらいたいという趣旨の要望書』

意見①

教育委員会は、子供のためにどうあるべきかを第一に考えるところである。要望書が提出されている中で、統合には問題がある。

意見②

本荘の調理場で余裕があるので、統合して有効活用するのがベターである。なぜ大金を投じて新築しなくてはいけないのか。

意見③

保護者から統合案に特に反対はなかった。統合でよい。

意見④

運営委員会の進め方はフェアであった。給食調理場は「コミュニティスペース」ではない。食の安全面、財政面や保護者の意見を聞いてみて、統合がベストである。

令和2年度

一般会計予算

問

本庁舎非常用電源装置設置事業で工事費に1億560万円という多額を計上しているが、その内訳は。

答

LPガス発電機3200万円、LPガスバルク貯槽が200万円、基礎工事、電気工事等で1億560万円である。

問

多額の事業なので、十分に再検討すべきではないか。

答

発注時に再度協議・精査して執行する。

問

先般、ドローンで行方不明捜索を神戸市のベンチャー企業が行ったというが、この会社か株式会社コマツである。

答

無償で実施したのか。

問

そのとおりである。

問

ドローン活用推進事業費1033万円のうち、物流検証実験の委託料768万円の内容は。

答

検証実験は、令和元年度に引き続き、弱い弱者の生活物資の配送に取り組む。

問

ドローン活用推進事業に当たり、組織している協議会の「運営」を実施している業者が運営するのは問題がある。

答

令和元年度は事務局委託料として、30万円で委託契約している。来年度については十分検討する。



ドローン (Swift 021)

委員長報告

厚生産業 常任委員会

令和元年度

一般会計補正予算

問 和気駅前南トイレの整備工事の繰越明許費1665万円はどうなっているのか。

答 現在設計を終え、入札段階になっている。これはJRとの近接工事等の協議に時間を要したためである。

公共下水道事業

特別会計補正予算

問 施設整備費受益者負担金106万3000円の7件分についてはどうか。

答 森区の分譲地で全て新築のものである。

国民健康保険

特別会計補正予算

問 保険事業費・特定健康診査等事業費の200万円の減額の内容は。

答 特定健診の当初見込みを40%から36%に見直したものである。

令和2年度

一般会計予算

問 ドローン撮影委託料100万円の補助金の内容は。

答 山間部農地確認を試験的に行うためのものだ。夏場の暑い時期や荒廃した現場での支援を行うものである。

問 敬老会祝賀会の概要は。

答 77歳、80歳、88歳、99歳の方々を対象としている。町文化協会や和気閑谷高生などに協力いただく予定である。

問 すもも園の改良計画はどんなものか。

答 造成から38年経過し、老木が大部分で収益が減っており、今後4年かけて順次植替え・抜根などを行う計画である。

問 佐伯地域買い物弱者支援事業を和気

答 地域へ普及することとは考えているか。今後検討していきたい。

国民健康保険

特別会計予算

問 医療費の削減について保険者としてのどのような努力をしているか。

答 特定健診や人間ドックの受診率向上に努めている。具体的には、特定健診は1か月受診期間を延長、人間ドックは備前市でも受診できるようにしたい。

簡易水道事業会計予算

問 受水費4277万7000円のうち、岡山県広域水道企業団の受水費は県から購入する水か。

答 そのとおりで、飲料水確保のためのものである。



すもも園

和気鵜飼谷 温泉事業 特別委員会

和気鵜飼谷温泉事業 特別会計補正予算

問

その他雑収入の100万円のふるさと納税返礼品の内容と、高齢者の入浴券の利用はどのようになっているのか。

答

ふるさと納税の返礼品として、温泉ペアの宿泊券、入浴食事券などのプランを出し、温泉利用券は、45%の利用率を見込んでいる。

答

新型コロナウイルスの影響は大きいですが、レストランの食事についても利用促進に努めていきたい。

問

集客の取り組みや温泉のPRをもっと検討しては。

問

職員給与と費のウエイトが大きいけど、どのように考えているか。

答

従業員の雇用形態や、食事の提供方法などの見直しを図り、業務の効率化に努めていく。お客様のニーズに合うような施設改修、リニューアルなどを行っていく。

和気鵜飼谷温泉事業

特別会計予算

議員紹介 ~第4回~

File Number

08



やま もと みのる
山本 稔

所属政党：無所属
当選回数：2回
役職：議会運営委員長

生年月日：昭和30年2月28日（65歳）

血液型：B型

家族構成：妻と息子の3人暮らし

居住地区：父井原

好きな食べ物：カレー、ラーメン、バナナ

趣味：スポーツ全般(見ることもすることも)

座右の銘：練習は裏切らない

ひとこと：子どもたちの未来のため、和気町の未来のため少しでも力になればと思い頑張っています。また、ふるさとの景観も残したいと思い、農業も頑張っています。自慢できるふるさと“和気”をいつまでも残すように頑張らしましょう。

File Number

07



かん ざき りょういち
神崎 良一

所属政党：無所属
当選回数：2回

生年月日：昭和31年5月18日（63歳）

血液型：A型

家族構成：大切な人(婚約中)、母、息子、孫2人

居住地区：衣笠 稲坪

好きな食べ物：鮎、ほたるいか

趣味：カラオケ

座右の銘：生涯現役

ひとこと：尊敬する父の遺言と地区の皆様のご支援で町議に立候補しました。学生時代は英語を学び、社会人では財務と海外経験を積んできました。退職後は介護施設と学習塾で仕事をしてきました。和気町に住んでいる方々が豊かに暮らしていける町を強く望んでいます。

ご自宅で、外出先で、議会の様子がわかります

和気町議会



 **YouTube** チャンネル登録
お願いします！



ライブ中継も！
録画も！
24時間いつでも！



動画投稿サイト

YouTube <https://www.youtube.com/>
(ユーチューブ)

和気町 議会

● スマートフォン・タブレットの方（アンドロイド・iPhone/iPad 共通）

右のQRコードを読み取ってください。
和気町議会のYouTubeチャンネルに移動します。
(カメラ機能またはバーコードリーダーのアプリが必要です)



● パソコンの方（Windows・Mac 共通, スマホでQRコードが読めなかった方も）

① Yahoo! や Google で「和気町」のホームページを検索

<https://www.town.wake.lg.jp/> または

② **行政** をクリック。

③  **和気町議会** をクリック。



最初の画面上に
みつからなくても
スクロールして
下の方を探して
みましょう！



④ 「議会中継」の項目から

◇和気町議会ライブ中継 または ◇録画配信 をクリック。

YouTube 内の「和気町議会チャンネル」に移動します。

観たい内容を選んでクリックすると、▶再生画面に移ります。



【ご注意ください】 インターネット接続及び動画視聴時の通信料は、各自のご負担になります。
動画再生には大量のデータ通信量が必要です。Wi-Fi 下などでの閲覧をおすすめします。

表紙写真を募集しています

あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！
発行月（1、4、7、10月）にふさわしい町民の笑顔やイベント
行事などの写真をお送りください。
採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するととも
に、紙面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッ
ズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会
事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。



The Story 今号の表紙 「サクラサク」

撮 影 者： 松田和弘さん

撮影場所： 吉井川ロータリーの公園

コメント： 春は出会いと別れの季節。新生活を迎えた方もたく
さんいると思います。

テレビをつければ不安なニュースでいっぱいですが、
でもきっと大丈夫。

予防をしっかりと、みんなで前を向いていきましょう。

みなさんの新年度が素晴らしいものになることを、
心から願っています。

(若旅 啓太)



表紙写真はトリミングして掲載させていただきました。

Editor's Note 編集後記

コロナウイルスで議会も感染防止・時間短縮のため、一般質問を自粛する異常
事態になり、びっくりされた方も多いと思う。しかし、私はここでもう少し冷静
になって、最も賢明な判断をして、この緊急事態に対応することが必要と思う。

世界経済にも戦後最大の試練となっている。この問題に対して国民的叡知を結
集して乗り越えていきたい。

(西中 純一)

